

学校保健委員会だより

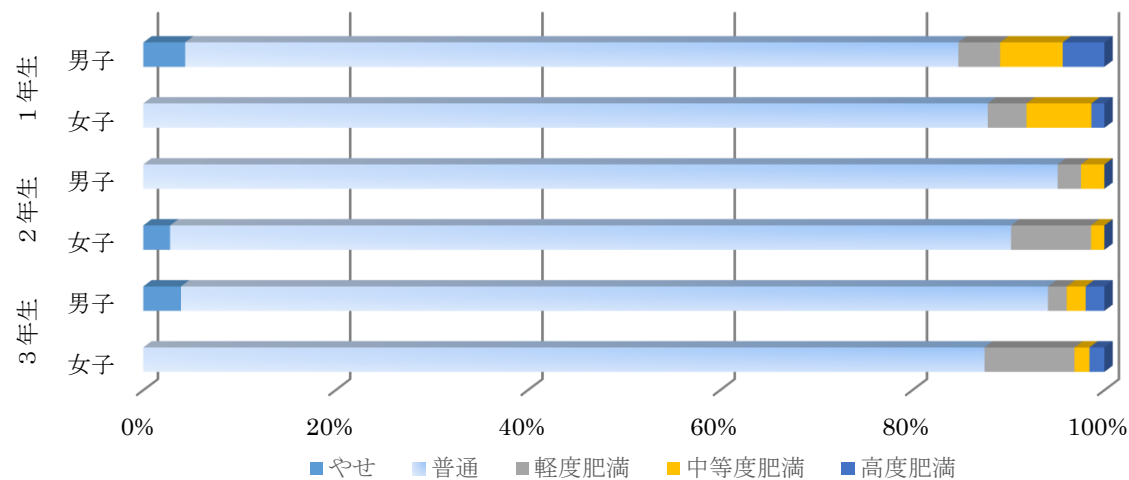
兵庫県立夢前高等学校 保健部

学校保健委員会は、学校における健康問題等を研究協議し、健康づくりを推進するための組織として設置されています。本校では3月1日(木)に学校医の先生方をはじめ、委員会のメンバーの出席のもと平成29年度の学校保健委員会が開催されました。今年度の学校保健活動の報告とともに、よりよく過ごせるように学校医の先生方からいただいた助言についてお知らせします。

1. 平成29年度 学校保健関係報告より

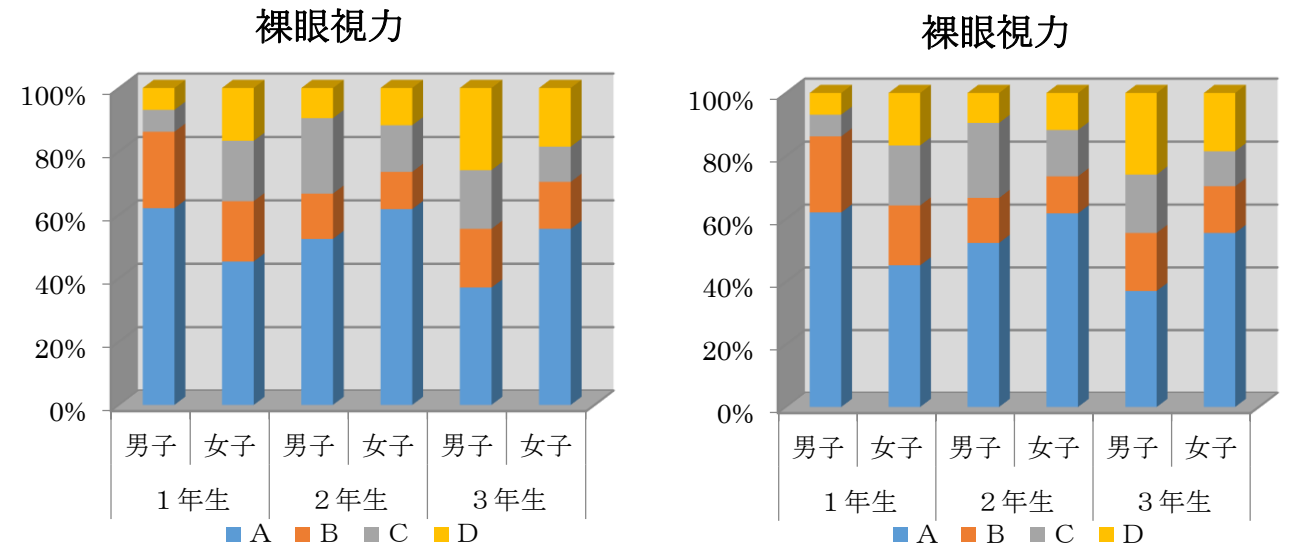
(1) 身体発育状況について

区分		男子			女子			
		46回生	45回生	44回生	46回生	45回生	44回生	
身長 (cm)	本校	1年次	▼166.9	▼166.4	▼166.4	▼155.5	▼155.8	▼157.0
		2年次		▼168.6	▼168.3		▼156.4	△157.6
		3年次			▼169.5			157.8
	県平均	168.1	170.1	170.9	157.7	157.2	157.5	
	全国平均	168.2	169.9	170.6	157.1	157.6	157.8	
体重 (kg)	本校	1年次	▼58.3	▼56.6	▼54.5	△53.2	▼50.8	△53.6
		2年次		▼58.5	▼56.5		▼52.5	△55.3
		3年次			▼59.2			△55.0
	県平均	57.7	59.6	62.1	51.7	52.2	53.2	
	全国平均	58.9	60.6	62.6	51.6	52.6	53.0	



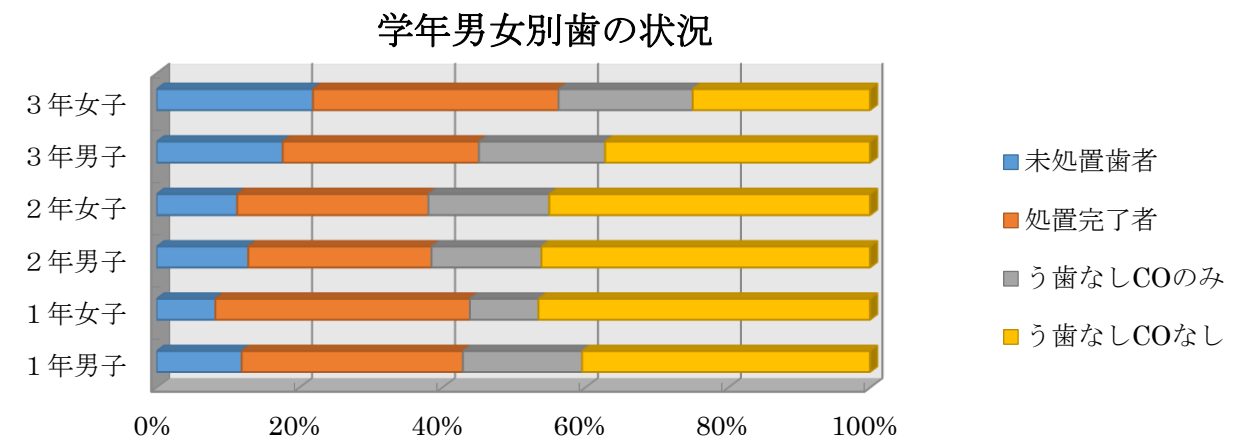
全国・県の平均より本校の生徒は、身長はやや小さい傾向。体重は8割の生徒は標準の範囲内であり問題はない。しかし、やせすぎの生徒や高度肥満傾向の生徒もいる。また、現在、全くの痩せる必要のない標準の生徒の中でも、「痩せたい」や「ダイエットをしたい」という生徒の声はたくさんあるため、今後、生活習慣病にならないための知識の習得のための取り組みをしていく必要がある。

(2) 視力

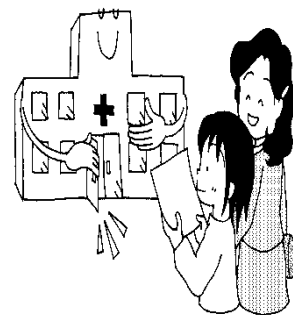


裸眼視力・眼鏡やコンタクトレンズなどでの矯正視力ともに、C(0.3~0.7)やD(0.3以下)のまま生活している生徒が多い。毎年受診の指示が出ていても眼科に行かずに放置している生徒も多数いる。(特に、矯正視力が悪い生徒は注意が必要。)特に就職試験などに向けて1学期に3年生への働きかけが必要。

(3) 歯科



生徒の約半数は齲歯(むし歯)がない(0本)状態である。しかし、現在むし歯は無くても、むし歯になるかもしれない注意が必要な歯(CO)がある場合や、歯垢や歯石がついている場合や歯茎が腫れているなどの状態を抱えている生徒も多い。生活アンケートでは歯磨きをしていない生徒はいなかったため、生徒が今後も健康な口腔を保つための意識づけのための取り組みが必要と考える。



毎年、視力・歯科とも要受診・要検査(診断)となり勧告書を発行する生徒が多い項目です。29年度は歯科については、検診の結果より未治療から治療完了者の数が増加してきています。しかし、本校では受診完了の報告の提出のうち特に、視力・歯科が他の検診の報告に比べて毎年極端に少ない状態にあります。受診の呼びかけとともに、受診後に用紙の提出をしてもらうようにさらに取組が必要だと感じています。生徒の健康づくりのため、保護者の方々の協力が必要となります。よろしくお祈りします。

2. 保健室の利用状況 ※今年度の資料の2月は2月21日までの集計でカウントし表示しています

(1) 月別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
内科	32	69	179	56	2	129	133	190	53	127	76	1046
外科	46	63	146	83	8	116	129	80	47	56	44	818
相談	1	0	4	7	1	18	11	9	3	9	3	66
計	79	132	329	146	11	263	273	279	103	192	123	1930

29年度は、昨年度より始業前や放課後の時間帯の利用や体育行事(球技大会・体育大会等)の外科的な利用が増加している。特に、今年度の1学年は例年に比べ、内科での利用も登下校や体育の時間などの怪我などの外科での利用も多いため、全体の利用件数は28年度の1.7倍の利用がある。しかし、約3割は検診等以外には利用はない生徒と、1～3回までの利用の生徒を合わせると約6割になるため、頻回の利用者が昨年度より増加傾向にある。

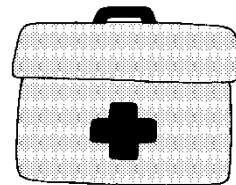
また、9月中旬から兵庫県内でインフルエンザなども流行し始め、12・1・2月も姫路市では引き続きインフルエンザ警報が持続し、胃腸かぜなども流行していたため体調不良者や、予防のためにうがいやマスクの交換などにくる生徒も多かったため内科の利用数が多いまま推移した。

利用を曜日別でみると、平日では昨年度は利用数の多くなかった木曜日が今年度は内科・外科とも利用が多いのが特徴的である。木曜日以外に大差はないが、内科の利用は火・木曜日に多く、外科の利用は木・金曜日に多くなっている。

(2) 時間別利用状況

時間帯	内科	外科	相談	合計	割合%
1校時	92	8	5	106	5.5%
2校時	111	0	6	117	6.1%
3校時	135	5	1	141	7.3%
4校時	120	2	3	125	6.5%
5校時	84	6	0	90	4.7%
6校時	48	1	0	49	2.5%
休み時間等	457	796	50	1303	67.5%
合計	1047	818	65	1930	100%

保健室利用の半分以上は、始業前や休憩時間、放課後の利用であり、授業中に利用するのは全体の3分の1になっている。授業時間の中では3校時の利用が多く、その理由として登校時や1校時から不調を我慢したうえで、保健室に来室するケースが多いことが問診等により伺える。



学年別にみると1年生の利用が一番多く、男子より人数も多い女子の利用の方が圧倒的に多い。

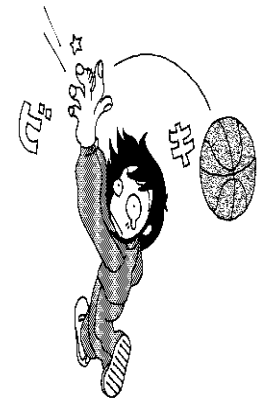
(3) 学年男女別利用状況

	男子	女子	計
1学年	180	602	782
2学年	121	406	527
3学年	207	414	621
計	508	1422	1930

3. 学校管理下の災害発生状況

(1) 事故報告数と内容 (平成29年3月～30年2月までの1年間)

	体育授業	学校行事	休憩時間	部活動	登下校	合計
打撲	1	0	1	3	0	5
靭帯損傷	1	2	0	4	0	7
軟骨等の損傷	0	3	0	1	0	4
骨折	3	2	1	4	1	11
挫傷	1	0	1	0	1	3
脱臼	0	0	0	1	0	1
捻挫	4	1	2	2	2	11
熱中症など	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	10	8	5	15	4	42



(2) 日本スポーツ振興センター申請状況

	H28	H29
災害発生件数	60	42
内対象件数	60	42
新規申請件数(～2月)	47	37
継続申請件数(～2月)	32	33

授業・学校行事・部活も含めて、バスケットボールでの怪我が多い。続いて野球・ソフトボールなど球技中の負傷が多い。手術を伴う負傷などにより1月以上治療のケースも多い。

学校医の先生方のアドバイス・委員からの意見より

今年度は、生徒保健委員会より保健委員長(前期:2年 則定杏奈さん・後期:1年 岡心琴さん)が文化祭に行った夢高生の生活アンケート調査の中から、睡眠時間や本校生の平日のスマホの利用時間については、現代の日本の成人の平均時間と変わらない基本的な生活が送れている人が多いことなどをピックアップして報告を行ってくれました。

- ◇ 眼科の岩崎先生より、スマホは近いところを見続けるため、連続して長時間利用すると視力が落ちやすくなるので利用時間を短くするように使用制限を行うことや、眼鏡やコンタクトを使用して矯正視力になっているのにC/Dの判定になっている、見えにくい生徒については再度眼科へ。
- ◇ 耳鼻科の西川先生より、花粉症について、一度でも検査を受けて花粉症やアレルギー性鼻炎であると本人・家族が認識している場合は、健診で用紙をもらってもすぐに受診しなくてもよいが、勝手に花粉症だろうと思っている(一度も受診していない)場合は注意が必要。
- ◇ 歯科の保井先生より10年前と比較しても口の状態はよくなってきているが、清涼飲料水は歯の表面を溶かすので、清涼飲料水は時々飲む程度にして、なるべく水やお茶を飲むほうがよい。

今年度を踏まえて、30年度も学校生活を健康・安全に過ごせるように取り組みたいと思います。今後ご協力をよろしくお願ひします。